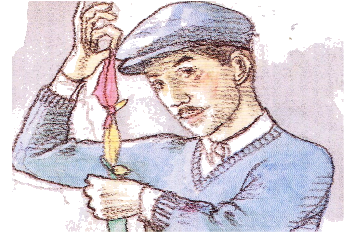


手品師

(参観のキーワード：心メーターの活用)

— 学習すること (ねらい) —

◎手品師の心の葛藤や動揺を、心メーターで表すことを通して、誠実に明るく生活していくことの大切さについて考えを深める。



— ねらいとする道徳的価値は —

正直 誠実

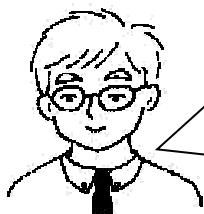
この時期の子供たちは、仲間との関係の中では、他人の行動や考えに左右されたり、自分の利害関係にとらわれて、嘘をついて他人を欺いたりすることがある。実際、目の前の子供たちも、人間関係を優先するあまり、学校のルールやマナーを守っていない場面を目にしても、正直に伝えたり、行動したりできないことが多くなってきている。このような実態を踏まえて、誠実に明るい心で生活することの大切さについて考えを深めさせ、道徳的判断力を養う。

— この授業で使う資料について — (出典：「みんなのどうとく」 5年 学研)

腕はいいがあまり売れず、大劇場のステージに立つことを夢見ている手品師がいた。手品師が、さびしそうな男の子に手品を見せた。すっかり元気になった男の子に明日も「きっとくるよ」と約束した。その夜、仲の良い友達からの電話で、大劇場に出るチャンスがあることを知らされる。手品師は大劇場に立ちたい気持ちを捨てきれずに悩むが、男の子との約束の方を選ぶ。そして、次の日、たった一人のお客さまを前にして、次々とすばらしい手品を演じるという内容である。

— 学習活動と主な発問 —

- 1 約束についての経験を話し合う。
○今までにどんな約束を守ったことがありますか。
- 2 資料「手品師」を読んで話し合う。
○手品師が男の子に「きっとくるよ」と約束したのは、どんな気持ちからでしょう。
○友人からの電話を受けて、手品師はどんなことを考えているでしょう。
○たった一人のお客を前にして手品をしている時、手品師はどんな気持ちだったでしょう。
- 3 約束を守ることができなかった経験を話し合う。
○これまでに約束を守れなかったことはありますか。
- 4 教師の説話をきく。



— 子供たちのこんな姿を期待します —

男の子との約束が大劇場のステージに立つことを選ぶか悩む手品師の気持ちを考えることを通して、何事にも自分の利害だけにとらわれず、他人や仕事に対して、まじめで真心をこめて接することができる姿を期待します。